

留学報告書アメリカコース

研修先：セントラル・ミズーリ大学

研修期間：平成30年8月22日（水）～平成30年12月6日（木）

※帰国は日本時間の12月7日（金）

出発から到着までのスケジュール

8月21日 成田エアポートレストハウス前泊

8月22日 成田空港10：55発→ダラス8：35着

ダラス12：55発→カンザスシティ14：30着

カンザスシティ空港からバスで1時間半で学校に到着

経費

経費 1,010,000円

その他の費用

・ パスポート取得料 10年有効：16,000円

5年有効：11,000円

・ 入国査証（ビザ）申請料 160ドル

（ビザ申請前に日本円で支払います。

申請料の他に、ビザ取得には東京のアメリカ大使館で面接を受ける必要がありますので、そのための往復交通費がかかります。）

・ SEVIS管理費 180ドル

（アメリカ入国ビザを申請するには、ビザ申請前にSEVIS管理費を支払う必要があります。）

・ 海外旅行傷害保険料 約34,000円

・ 新潟一成田空港間の往復交通費

・ その他個人的な支出（小遣い） 約200,000円

時間割

	月	火	水	木	金
1限 9 : 00~10 : 50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication skill	American History
2限 11 : 00~12 : 50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	USA Japan Relations
Lunch Break					
3限 14 : 00~14 : 50	Accent Reduction	TOEIC	Accent Reduction	TOEIC	
4限 15 : 00~15 : 50	Reading Lab	Seminar in American Culture	Writing Lab	Seminar in American Culture	
				English cafe (16 : 00~ 17 : 00)	

授業科目紹介

・ Reading

Session1では主に教科書の読み物を使い、ペアでディスカッションをしながら文章を要約したり構造を理解する。

Session2では本を使い、登場人物の性格や本のテーマ、筆者は何を伝えたいのか読み解いていく。

・ Writing

英語でのエッセイの書き方を学ぶ。自分の好きな動物を比較した内容のものや、persuasiveエッセイを書いたりなどもする。

- ・ Grammar

英語の文法について学ぶ。受動態や仮定法、関係詞などの単元を学ぶ。

- ・ Communication Skills

主にプレゼンテーションやリスニング、スピーキングのスキルを上げる授業である。プレゼンテーションでは、個人での発表とグループでの発表がある。

- ・ Accent Reduction

少人数のグループに分かれて行う授業である。大学の先生ではなく、インストラクターの方が授業を行う。ゲームなどをしながら発音を練習する。（特にrとlの発音）

- ・ TOEIC

TOEICのスコアを上げることを目的とした授業である。帰国前に受けるTOEICに向け、練習問題を行う。

- ・ Seminar in American Culture

アメリカの文化について学ぶ。テーマに沿ってグループでディスカッションをしたり、調べたことを発表をすることもある。

- ・ American History

アメリカの歴史について学ぶ。本を使いながら授業を進める。

- ・ USA Japan Relations

アメリカと日本の歴史を学び、比較や関係性について学ぶ。

- ・ English Cafe

他の留学生やアメリカ人の学生と話すことができる。話題などは特に決まっていないので、気軽に会話をすることができる。

学生寮について

学生寮は授業棟から約徒歩5分の場所に位置している。すぐ近くにはダイニングホールがある。部屋は本学の学生との二人部屋である。トイレとシャワーは隣の部屋の学生と共同である。1階のロビーには学生が一人常時いるので、困ったことがあれば質問できる。また、キッチンや卓球台、地下にはランドリーがあり気軽に使用することができる。

平日と休日の1日のスケジュール

平日

7:00～ 食堂を利用可能

9:00～12:50 授業

12:50～14:00 昼休憩

14:00～15:50（5限がある時は17:00まで）授業

～20:30（金曜日は18:30）まで食堂を利用可能

休日

9:00～ 食堂を利用可能

午前 自由時間

12:00 昼食

午後 自由時間

～19:00 食堂を利用可能

派遣先（大学）及びスタッフ紹介

派遣先: セントラル・ミズーリ大学

セントラルミズーリ大学はアメリカ、ミズーリ州のウォレンズバーグにある公立大学である。15000人近くの学生が在籍し、150以上の専攻課程が用意されている。

主なELI (English Language Institute) のスタッフ:

Valerie Heming

Suzanne Beck

Jill Thomas

Laura Kennish

Amber Scroggs

Miryan K Andaku

留学メンバー紹介

赤川万里慧

碓つぐみ

伊藤充来

北澤凌

木村凌介

桑本野之花

児玉愛里

後藤由奈

菅沼楓

鈴木大号

寺島和弥

原山愛望

馬場裕也

廣川義人

星山聖夜

六間口紀恵

渡部慧介

イベント紹介

・カンザスシティ

ELI (English Language Institute) の先生方が週末にカンザスシティを訪れるイベントを何度か企画してくれるので、通行手段や料金を気にせず気軽にカンザスシティ観光を楽しめる。自由時間にショッピングを楽しめるほか、ゴルフ練習場や博物館、美術館を訪れたり、カンザスシティの飲食店で食事をとることもある。

・ハロウィン

ハロウィンにはELI (English Language Institute) の先生方が企画したイベントがある。焚き火を囲って、屋外でホットドッグづくりや焼きマッシュマロが楽しめる。他にも個人個人が好きなようにカボチャに色を塗り、自分だけのカボチャをつくるという活動もある。

・サンクスギビング

アメリカでは11月の第4木曜日に、感謝祭 (Thanksgiving Day) という祝日があり、学校はこの日までの1週間は休みになる。あらかじめ計画をたて、遠く離れた地域まで旅行することも可能である。希望すれば、普段と変わらず寮に滞在することもできるが、食堂や他の施設のほとんどは連休の間は閉まってしまう。その際の食事は、ELI (English Language Institute) の先生方が必要な日数分を事前に配給してくれるほか、ホストファミリーのもてなしを受けることもできる。

・アワードセレモニー

留学中の最後のイベントで、先生から修了証書が渡される。先生方、学生からの代表者によるスピーチがあり、イベント中行われるビンゴゲームでは景品がもらえる。IEP (Intensive English Program) の関係者が多く参加し、一緒に食事を楽しむ。

大学生活紹介

・食事

大学の敷地内には、食堂がいくつかあるほか、ファストフード店やカフェなどが多くある。食堂はビュッフェ形式で、日や時間帯によってメニューが変わる。学生証を提示すれば、食堂は開店時間内に何度でも無料で利用できる。大学の敷地外には、ほかにも飲食店が多くある。

・ 娯楽

キャンパス内では、いくつかの娯楽施設がある。映画を観たり、ボーリングをしたり、ジムで体を動かしたりできる。なかには有料のものもあるが、学生証を提示すれば無料で利用できる施設も多くある。

・ 買い物

生活に必要なものは、ほとんどWalmartで購入できる。徒歩で2～30分ほどかかる場所にあるが、週に1回学校から無料の送迎タクシーがでているので、気軽に利用できる。また、近くに購買やコンビニエンスストアもある。

・ 休日

休日にはELI (English Language Institute) の先生方が企画したイベントが頻繁に行われるので、参加して休日を有意義に過ごすことができる。このイベントにはIEP (Intensive English Program) の学生が多く参加するので、交流を深める良い機会になる。授業の課題も多いので、イベントがないときは、仲間と協力して課題に取り組むことが多い。













